

米をめぐる状況について

令和 6 年 2 月
農林水産省農産局

目 次

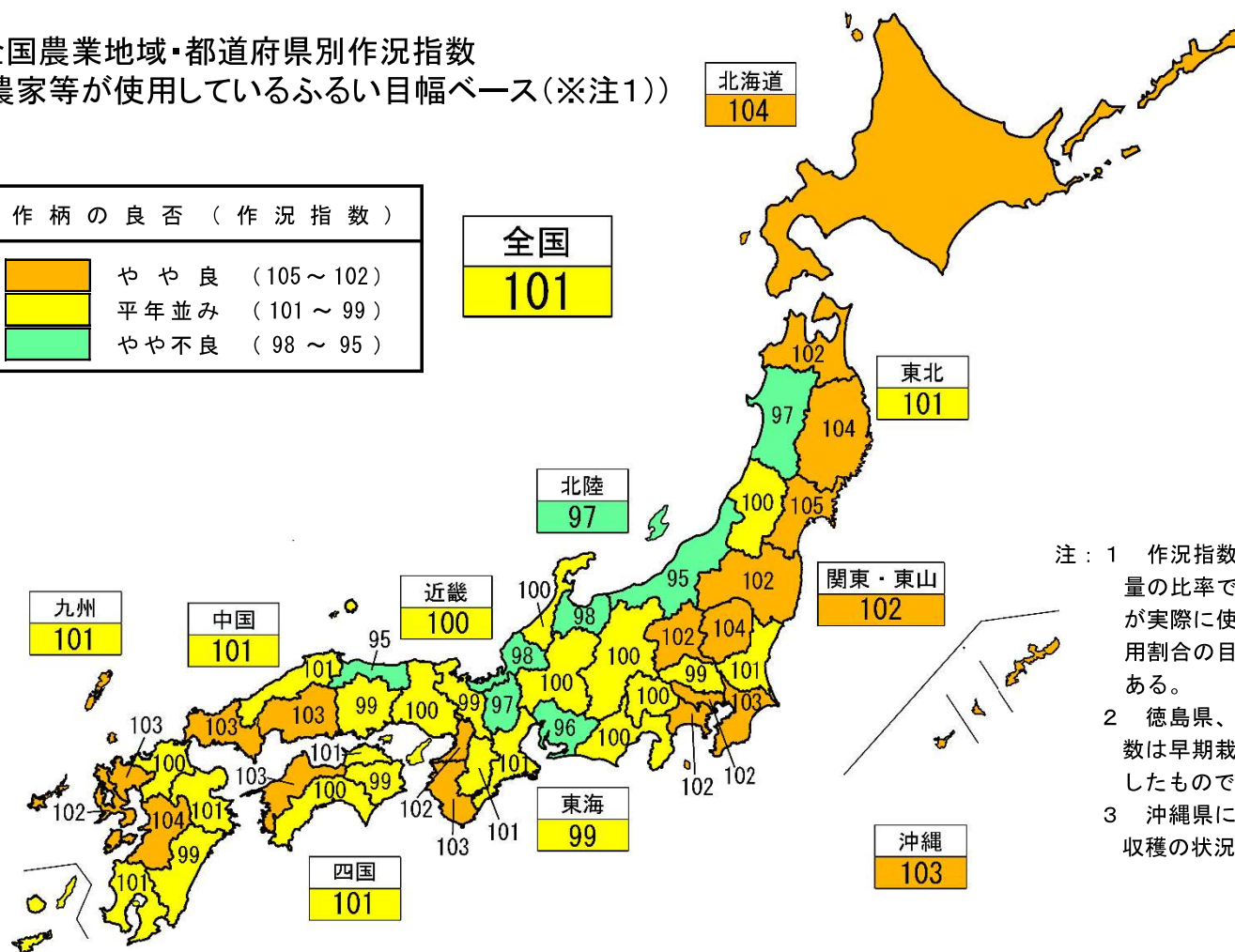
○令和5年産水稻の作付面積及び収穫量	2
○令和5年産の水田における作付状況（令和5年9月30日時点）	3
○令和5年産の水田における作付状況（令和5年9月30日時点）①	4
○令和5年産の水田における作付状況（令和5年9月30日時点）②	5
○基本指針の変更のポイント	6
○米の販売数量及び民間在庫の推移（令和5年12月）	7
○産地別民間在庫の状況（令和5年12月）	8
○相対取引価格の推移（平成25年産～令和5年産）	9
○令和5年産米の相対取引価格（令和5年12月の年産平均価格）	10
○令和5年産水稻うるち玄米農産物検査結果（令和5年12月31日時点）	11
○令和5年産水稻うるち玄米 等級別検査数量（令和5年12月31現在）	12
○各道府県農業再生協議会等が作成した令和6年産主食用米の生産の目安等	13
○令和5年夏の高温・渇水の状況と対応について	14
○令和5年夏の高温・渇水被害に対する農水省の対応①	15
○令和5年夏の高温・渇水被害に対する農水省の対応②	16
○（参考）各道府県農業再生協議会等が作成した令和6年産主食用米の生産の目安等	17

令和5年産水稻の作付面積及び収穫量

- 令和5年産水稻の作付面積（子実用）は134万4,000ha（前年産に比べ1万1,000ha減少）となった。うち主食用作付面積は124万2,000ha（前年産に比べ9,000ha減少）となった。
- 全国の10a当たり収量（1.70mmのふるい目幅ベース）は533kgと見込まれる。
- 主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた主食用の収穫量は661万t（前年産に比べ9万1,000t減少）と見込まれる。
- 農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は101となる見込み。

全国農業地域・都道府県別作況指数
（農家等が使用しているふるい目幅ベース（※注1））

作柄の良否（作況指数）	
	やや良（105～102）
	平年並み（101～99）
	やや不良（98～95）



- 注：1 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
- 2 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は早期栽培（第一期稲）、普通栽培（第二期稲）を合算したものである。
- 3 沖縄県については、一部収穫を終えていない地域があり、収穫の状況によっては今後作柄が変動することがある。

令和5年産の水田における作付状況（令和5年9月30日時点）

- 全国の主食用米の作付面積については、前年実績（125.1万ha）から0.9万ha減少（▲0.7%）し、124.2万haとなった。
- 令和5年産で畑地化に取り組む面積は、麦、大豆、飼料作物、そば、なたねのほか、高収益作物等を加えると3.5万haとなる見込み。

【主食用米及び戦略作物等の作付状況】

【主食用米及び戦略作物等の作付状況】

	主食用米	戦略作物等									(万ha)
		加工用米	新規需要米				麦	大 豆	飼料作物 そば なたね	戦略作物等 合計面積	備蓄米
			新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 〔稲発酵 粗飼料用稲〕					
H 29年産	137.0	5.2	0.1	0.5	9.2	4.3	9.8	9.0	10.2	48.3	3.5
H 30年産	138.6	5.1	0.4	0.5	8.0	4.3	9.7	8.8	10.2	47.0	2.2
R 元年産	137.9	4.7	0.4	0.5	7.3	4.2	9.7	8.6	10.2	45.6	3.3
R 2 年産	136.6	4.5	0.6	0.6	7.1	4.3	9.8	8.5	10.2	45.6	3.7
R 3 年産	130.3	4.8	0.7	0.8	11.6	4.4	10.2	8.5	10.2	51.2	3.6
R 4 年産	125.1	5.0	0.7	0.8	14.2	4.8	10.6	8.9	9.9	54.9	3.6
R 5 年産	124.2	4.9	0.9	0.8	13.4	5.3	10.5	8.8	8.3	52.8	3.5
畑地化面積	—	—	—	—	—	—	0.4	0.2	1.6	2.2 (3.5)	—

注1：加工用米及び新規需要米（米粉用米、飼料用米、WCS用稲、新市場開拓用米）は取組計画の認定面積。

注2：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。

注3：麦、大豆、飼料作物、そば、なたねは、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。

※R5年産畑地化面積の戦略作物等合計面積欄の3.5万haについては、麦、大豆、飼料作物、そば、なたねのほか、高収益作物等を加えた面積。

令和5年産の水田における作付状況（令和5年9月30日時点）①

都道府県	主食用米			戦略作物等										(ha) 備蓄米	
				新規需要米						麦	大豆	飼料作物	そば		なたね
	加工用米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 稲発酵 粗飼料用稲	その他									
		①	前年産 (4年産) ②	増 減 ①－②											
全国計	124.2万	125.1万	▲ 0.9万	48,797	9,091	7,587	133,925	53,055	71	104,526	87,973	56,403	25,785	649	35,359
北海道	82,200	82,500	▲ 300	6,920	1,974	143	6,788	1,594	－	33,869	17,865	11,780	6,551	411	2,089
青 森	33,800	33,900	▲ 100	787	321	12	7,930	788	－	561	4,801	3,571	1,133	24	5,661
岩 手	42,800	43,700	▲ 900	1,283	417	30	5,739	2,396	1	3,491	4,196	6,717	686	17	663
宮 城	57,200	57,000	200	626	894	103	9,801	2,757	1	2,186	9,525	5,421	436	0	2,144
秋 田	69,900	69,100	800	8,264	500	329	4,265	1,235	2	182	8,701	1,968	3,290	0	3,955
山 形	52,400	52,700	▲ 300	4,516	440	112	5,138	1,239	4	73	4,655	2,375	4,337	1	3,484
福 島	53,100	51,900	1,200	448	142	12	11,722	1,079	1	333	907	1,598	1,499	84	4,753
茨 城	57,800	58,300	▲ 500	947	762	55	13,886	653	3	4,037	776	491	311	1	217
栃 木	47,200	46,100	1,100	1,513	70	1,418	15,069	2,177	4	7,442	419	3,046	1,208	6	1,149
群 馬	12,400	12,400	0	1,389	0	168	1,661	621	－	2,185	118	173	33	0	－
埼 玉	27,500	27,400	100	144	52	769	3,605	124	－	1,877	383	158	50	6	43
千 葉	45,800	45,500	300	1,672	35	135	10,154	1,316	－	440	262	312	2	1	122
東 京	111	115	▲ 4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
神奈川	2,850	2,880	▲ 30	－	－	－	13	2	－	4	6	4	0	－	－
新 潟	100,600	99,900	700	7,093	1,586	1,784	4,032	533	1	189	3,996	296	845	－	4,559
富 山	31,200	31,300	▲ 100	1,220	342	266	2,096	480	－	2,834	4,165	329	250	22	2,202
石 川	20,800	20,700	100	481	65	371	1,131	127	－	1,198	981	27	141	－	1,629
福 井	21,500	21,600	▲ 100	322	132	213	1,976	160	－	5,210	76	43	480	－	1,218
山 梨	4,660	4,690	▲ 30	62	－	29	21	18	－	62	99	23	103	0	－
長 野	29,300	29,800	▲ 500	733	245	24	429	265	－	2,543	670	590	2,211	0	257
岐 阜	19,700	20,000	▲ 300	741	78	65	3,496	303	－	3,689	359	521	259	6	94
静 岡	15,000	15,000	0	105	1	8	1,011	330	－	244	38	40	28	－	4
愛 知	24,700	25,200	▲ 500	573	44	278	2,040	182	－	5,646	70	133	7	11	176
三 重	24,900	25,200	▲ 300	168	54	95	2,426	303	－	7,050	188	169	19	9	53

※1 主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米面積。

※2 加工用米及び新規需要米は取組計画の認定面積で、備蓄米は地域農業再生協議会が把握した面積。

※3 麦、大豆、飼料作物、そば、なたねは地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。

※麦、大豆、飼料作物、そば及びなたねについては畑地化面積を含まない。

令和5年産の水田における作付状況（令和5年9月30日時点）②

都道府県	主食用米			戦略作物等										(ha) 備蓄米	
	①	【参考】		加工用米	新規需要米					麦	大豆	飼料作物	そば		なたね
		前年産 (4年産) ②	増 減 ①－②		新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 稲発酵 粗飼料用稲	その他						
滋 賀	27,000	27,700	▲ 700	608	205	58	2,033	310	－	8,222	591	158	110	11	282
京 都	13,200	13,400	▲ 200	551	25	10	133	158	－	290	266	47	134	－	－
大 阪	4,430	4,540	▲ 110	0	－	5	6	4	－	2	8	1	－	－	－
兵 庫	32,500	32,800	▲ 300	674	185	48	819	972	6	1,931	1,658	792	125	12	－
奈 良	8,200	8,350	▲ 150	19	－	36	50	43	－	68	22	5	1	0	－
和歌山	5,780	5,980	▲ 200	－	－	1	3	4	－	4	11	3	2	－	－
鳥 取	11,700	12,000	▲ 300	25	33	0	821	392	0	68	619	845	330	1	79
島 根	15,900	16,100	▲ 200	252	2	7	804	745	1	281	629	487	302	4	26
岡 山	26,900	27,100	▲ 200	295	189	120	1,824	475	－	1,269	1,116	911	129	1	152
広 島	20,500	21,100	▲ 600	351	44	96	443	708	0	318	226	930	252	0	10
山 口	16,000	16,600	▲ 600	976	86	43	1,108	410	0	711	816	864	43	1	－
徳 島	9,480	9,640	▲ 160	20	40	11	1,007	247	－	55	7	99	2	－	198
香 川	10,100	10,800	▲ 700	48	28	7	195	269	－	1,322	39	210	9	1	－
愛 媛	12,800	13,000	▲ 200	34	－	6	344	217	－	430	313	241	2	－	－
高 知	10,200	10,600	▲ 400	84	－	18	1,135	321	－	5	54	110	0	－	2
福 岡	32,300	32,800	▲ 500	224	12	322	2,475	2,068	－	1,140	7,773	450	43	0	11
佐 賀	21,700	22,300	▲ 600	406	8	19	829	2,246	－	1,411	6,241	430	12	2	42
長 崎	10,000	10,400	▲ 400	6	10	4	117	1,549	1	78	256	2,053	34	2	－
熊 本	28,900	30,200	▲ 1,300	672	41	309	1,646	9,167	24	795	2,238	1,922	179	12	66
大 分	18,100	18,800	▲ 700	148	2	13	1,932	2,758	－	693	1,317	948	95	2	19
宮 崎	12,700	13,400	▲ 700	1,978	22	22	887	7,207	23	18	207	3,109	62	－	－
鹿児島	15,800	16,600	▲ 800	1,389	1	12	880	4,081	1	75	310	1,985	40	2	－
沖 縄	545	604	▲ 59	30	－	2	3	22	－	－	－	20	－	－	－

※1 主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米面積。

※2 加工用米及び新規需要米は取組計画の認定面積で、備蓄米は地域農業再生協議会が把握した面積。

※3 麦、大豆、飼料作物、そば、なたねは地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。

※麦、大豆、飼料作物、そば及びなたねについては畑地化面積を含まない。

基本指針の変更のポイント（令和5年10月）

前回（7月31日）

○ 令和4/5年の主食用米等の需給実績（速報値）

（基本指針の図1「令和4/5年の需要実績」に基づき作成）

令和2年産米のコロナ影響緩和特別対策（特別枠）を除いた場合の見通し

（単位：万トン）			
令和4年6月末民間在庫量	A	218	→ 209 ≪9≫
令和4年産主食用米等生産量	B	670	
令和4/5年主食用米等供給量計	C=A+B	888	→ 879 ≪9≫
令和4/5年主食用米等需要量	D	691	
令和5年6月末民間在庫量	E=C-D	197	→ 194 ≪3≫

○ 令和5/6年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

令和5年6月末民間在庫量	E	197	→ 194 ≪3≫
令和5年産主食用米等生産量	F	669	
令和5/6年主食用米等供給量計	G=E+F	866	
令和5/6年主食用米等需要量	H	681	
令和6年6月末民間在庫量	I=G-H	184	

注1：令和5/6年主食用米等需要量は、過去のデータを用いてトレンドで算出した令和5/6年の1人当たり消費量（推計値）に、令和5年の人口（推計値）を乗じて算出した値であり、今後の価格動向等によっては、変動する可能性がある。

注2：欄外の記載は、コロナ影響緩和特別対策（特別枠）に取り組む令和2年産米を除いた場合の見通しであり、≪≫書きは特別枠に係る取組数量。

注3：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

・在庫量の確定

・令和5年9月25日現在の予想収穫量に基づく変更

・1人当たりの消費量に人口を乗じる手法により推計（最新値に更新）

今回（10月19日）

○ 令和4/5年の主食用米等の需給実績（確定値）

（基本指針の図1「令和4/5年の需要実績」に基づき作成）

令和2年産米のコロナ影響緩和特別対策（特別枠）を除いた場合の見通し

（単位：万トン）			
令和4年6月末民間在庫量	A	218	→ 209 ≪9≫
令和4年産主食用米等生産量	B	670	
令和4/5年主食用米等供給量計	C=A+B	888	→ 879 ≪9≫
令和4/5年主食用米等需要量	D	691	
令和5年6月末民間在庫量	E=C-D	197	→ 194 ≪3≫

○ 令和5/6年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

令和5年6月末民間在庫量	E	197	→ 194 ≪3≫
令和5年産主食用米等生産量	F	662	
令和5/6年主食用米等供給量計	G=E+F	859	
令和5/6年主食用米等需要量	H	682	
令和6年6月末民間在庫量	I=G-H	177	

○ 令和6/7年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

令和6年6月末民間在庫量	I	177	
令和6年産主食用米等生産量	J	669	
令和6/7年主食用米等供給量計	K=I+J	847	
令和6/7年主食用米等需要量	L	671	
令和7年6月末民間在庫量	M=K-L	176	

・令和5年産の生産量の見通しと同水準の生産量

・1人当たりの消費量に人口を乗じる手法により推計

注1：欄外の記載は、コロナ影響緩和特別対策（特別枠）に取り組む令和2年産米を除いた場合の見通しであり、≪≫書きは特別枠に係る取組数量。

注2：上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式による輸入米は含まれない。

注3：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

米の販売数量及び民間在庫の推移（令和5年12月）

- 令和5年12月の米の販売数量の対前年同月比は、小売事業者向けで+4%、中食・外食事業者向けは+2%となっており、販売数量の計では+3%となっている。また、5年1月～12月の対前年比は、小売事業者向けで+2%、中食・外食事業者向けは+5%となっており、販売数量の計では+3%となっている。
- 令和5年12月末現在の全国の民間在庫は、出荷・販売段階の計で対前年差▲29万トンの299万トンとなっており、出荷段階は対前年差▲29万トンの247万トン、販売段階は対前年差±0万トンの52万トンとなっている。

【米穀販売事業者における販売数量の動向(前年同月比)(速報)】

	4年1月 ～12月計	5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月 ～12月計
小売事業者向け	98%	100%	101%	98%	101%	107%	100%	102%	104%	103%	105%	105%	104%	102%
(※令和元年との比較)	(101%)	(104%)	(103%)	(102%)	(101%)	(108%)	(101%)	(99%)	(107%)	(100%)	(102%)	(104%)	(108%)	(103%)
中食・外食事業者等向け	104%	103%	107%	103%	102%	106%	104%	107%	106%	105%	105%	105%	102%	105%
(※令和元年との比較)	(94%)	(93%)	(94%)	(94%)	(95%)	(99%)	(99%)	(97%)	(97%)	(102%)	(100%)	(100%)	(98%)	(97%)
販売数量計	101%	101%	104%	100%	101%	107%	102%	104%	105%	104%	105%	105%	103%	103%
(※令和元年との比較)	(98%)	(99%)	(99%)	(98%)	(98%)	(104%)	(101%)	(98%)	(102%)	(101%)	(101%)	(102%)	(103%)	(101%)

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000トンの販売事業者（年間取扱数量約150万トン（令和4年産主食用米等の生産量670万トンの約2割））である。

2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

3：令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年（4月までは平成31年）の同月との比較をした値を記載。

【購入数量の推移(家計調査)】

		4年1月 ～12月計	5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月 ～12月計
米	購入数量	57.38	3.72	4.06	4.25	4.51	4.45	4.23	4.39	4.44	6.06	6.75	4.49	5.29	56.65
	前年同期比	94.4%	94.2%	98.1%	91.4%	99.3%	101.6%	98.8%	100.9%	102.1%	100.5%	93.2%	97.8%	109.1%	98.7%
パン	前年同期比	98.3%	96.9%	102.8%	93.5%	99.1%	95.2%	100.2%	93.0%	95.7%	101.1%	100.3%	96.3%	101.6%	98.0%
めん類	前年同期比	98.2%	98.0%	87.3%	90.7%	93.1%	95.8%	95.2%	94.1%	101.0%	91.5%	91.1%	94.9%	92.3%	93.8%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯

【民間在庫量の推移(出荷＋販売段階)(速報)】

		当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
4 / 5 年	出荷＋販売段階	142	122	199	313	330	328	306	280	251	219	186	153
	出荷段階	116	98	166	262	277	276	259	236	204	176	149	121
	販売段階	26	25	33	50	52	52	47	44	46	43	36	33
5 / 6 年	出荷＋販売段階	123	105	199	289	304	299						
	対前年差	▲20	▲18	±0	▲23	▲26	▲29						
	出荷段階	95	78	162	236	250	247						
	対前年差	▲21	▲19	▲5	▲26	▲27	▲29						
	販売段階	27	26	38	54	54	52						
	対前年差	+1	+2	+5	+3	+2	±0						

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2：報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

3：期間については、5/6年であれば、令和5年7月～6年6月である。

産地別民間在庫の状況（令和5年12月）

（単位：千玄米トン）

	4年 11月 ① (千玄米トン)	4年 12月 ② (千玄米トン)	5年 11月 ③ (千玄米トン)	対前年 同月差 ④=③-① (千玄米トン)	対前年 同月比 ⑤=③/① (%)	5年 12月 ⑥ (千玄米トン)	対前年 同月差 ⑦=⑥-② (千玄米トン)	対前年 同月比 ⑧=⑥/② (%)
北海道	331.4	342.0	284.2	▲ 47.2	▲ 14.3%	280.6	▲ 61.3	▲ 17.9%
青森	149.2	147.1	147.0	▲ 2.3	▲ 1.5%	144.1	▲ 3.0	▲ 2.0%
岩手	135.5	160.9	123.4	▲ 12.1	▲ 8.9%	135.8	▲ 25.1	▲ 15.6%
宮城	182.3	178.9	163.8	▲ 18.5	▲ 10.1%	168.7	▲ 10.2	▲ 5.7%
秋田	267.3	256.1	230.4	▲ 36.9	▲ 13.8%	229.3	▲ 26.8	▲ 10.5%
山形	188.3	196.7	181.2	▲ 7.0	▲ 3.7%	184.8	▲ 11.9	▲ 6.0%
福島	176.7	172.8	180.1	+ 3.4	+ 1.9%	182.7	+ 10.0	+ 5.8%
茨城	141.2	133.1	134.7	▲ 6.5	▲ 4.6%	124.8	▲ 8.4	▲ 6.3%
栃木	170.9	166.7	153.0	▲ 17.8	▲ 10.4%	151.9	▲ 14.8	▲ 8.9%
群馬	19.7	27.6	15.5	▲ 4.2	▲ 21.2%	18.5	▲ 9.2	▲ 33.2%
埼玉	42.7	42.1	34.4	▲ 8.3	▲ 19.5%	34.4	▲ 7.7	▲ 18.4%
千葉	78.7	70.4	71.8	▲ 6.9	▲ 8.8%	63.9	▲ 6.5	▲ 9.2%
東京	0.0	0.0	0.0	+ 0.0	-	0.0	+ 0.0	-
神奈川	2.6	2.5	2.7	+ 0.1	+ 4.3%	2.6	+ 0.0	+ 0.7%
山梨	4.0	5.0	4.4	+ 0.4	+ 9.8%	5.3	+ 0.3	+ 6.0%
長野	78.1	75.8	79.2	+ 1.0	+ 1.3%	75.8	+ 0.0	+ 0.0%
静岡	21.6	20.0	24.8	+ 3.2	+ 14.8%	22.6	+ 2.7	+ 13.3%
新潟	293.7	266.6	298.4	+ 4.7	+ 1.6%	271.5	+ 4.9	+ 1.8%
富山	97.6	95.2	95.1	▲ 2.5	▲ 2.6%	88.3	▲ 6.9	▲ 7.2%
石川	78.6	71.8	79.2	+ 0.6	+ 0.8%	69.5	▲ 2.2	▲ 3.1%
福井	62.7	55.1	51.3	▲ 11.4	▲ 18.1%	46.4	▲ 8.8	▲ 15.9%
岐阜	24.9	33.9	29.3	+ 4.3	+ 17.4%	34.2	+ 0.3	+ 0.9%
愛知	36.2	39.1	32.3	▲ 3.9	▲ 10.8%	34.9	▲ 4.2	▲ 10.7%
三重	41.7	38.8	39.1	▲ 2.7	▲ 6.4%	34.9	▲ 3.9	▲ 10.1%

	4年 11月 ① (千玄米トン)	4年 12月 ② (千玄米トン)	5年 11月 ③ (千玄米トン)	対前年 同月差 ④=③-① (千玄米トン)	対前年 同月比 ⑤=③/① (%)	5年 12月 ⑥ (千玄米トン)	対前年 同月差 ⑦=⑥-② (千玄米トン)	対前年 同月比 ⑧=⑥/② (%)
滋賀	64.5	59.3	55.6	▲ 9.0	▲ 13.9%	51.2	▲ 8.1	▲ 13.6%
京都	13.0	12.3	11.0	▲ 2.0	▲ 15.7%	10.4	▲ 1.9	▲ 15.4%
大阪	1.3	2.6	0.8	▲ 0.5	▲ 37.6%	1.9	▲ 0.6	▲ 24.8%
兵庫	50.4	49.5	45.4	▲ 5.0	▲ 9.9%	46.9	▲ 2.6	▲ 5.3%
奈良	12.8	12.4	11.7	▲ 1.1	▲ 8.5%	11.3	▲ 1.1	▲ 9.0%
和歌山	2.3	2.4	2.2	▲ 0.1	▲ 3.4%	2.2	▲ 0.2	▲ 7.7%
鳥取	26.2	29.9	21.3	▲ 4.8	▲ 18.5%	25.6	▲ 4.3	▲ 14.3%
島根	28.6	31.4	24.1	▲ 4.5	▲ 15.8%	26.7	▲ 4.7	▲ 14.9%
岡山	40.6	43.5	36.9	▲ 3.7	▲ 9.0%	37.9	▲ 5.5	▲ 12.7%
広島	46.6	43.3	47.9	+ 1.3	+ 2.9%	40.5	▲ 2.8	▲ 6.5%
山口	40.8	41.5	36.3	▲ 4.5	▲ 11.1%	34.7	▲ 6.8	▲ 16.4%
徳島	12.4	10.9	9.2	▲ 3.2	▲ 25.5%	7.6	▲ 3.3	▲ 30.2%
香川	17.4	18.9	17.8	+ 0.4	+ 2.5%	16.1	▲ 2.9	▲ 15.2%
愛媛	17.0	16.1	16.5	▲ 0.5	▲ 2.9%	15.7	▲ 0.4	▲ 2.4%
高知	11.3	10.4	9.1	▲ 2.2	▲ 19.7%	8.2	▲ 2.2	▲ 21.1%
福岡	66.1	74.0	60.1	▲ 6.0	▲ 9.0%	67.5	▲ 6.4	▲ 8.7%
佐賀	30.1	30.5	28.7	▲ 1.4	▲ 4.7%	31.4	+ 0.9	+ 2.9%
長崎	9.8	10.3	8.4	▲ 1.4	▲ 14.2%	8.8	▲ 1.5	▲ 14.9%
熊本	45.1	50.4	38.9	▲ 6.2	▲ 13.8%	45.5	▲ 4.8	▲ 9.6%
大分	20.1	22.1	18.9	▲ 1.2	▲ 5.8%	17.8	▲ 4.3	▲ 19.6%
宮崎	13.9	15.7	8.1	▲ 5.8	▲ 41.6%	9.2	▲ 6.5	▲ 41.4%
鹿児島	26.8	25.6	19.3	▲ 7.5	▲ 27.9%	17.5	▲ 8.1	▲ 31.7%
沖縄	0.3	0.2	0.2	▲ 0.1	▲ 27.1%	0.2	▲ 0.1	▲ 26.3%
全国	330万ト	328万ト	304万ト	▲ 26万ト	▲ 7.9%	299万ト	▲ 29万ト	▲ 8.8%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。